

## ものづくり工房あかおにどん 糸ノコ盤を使って来年の干支の 「ウサギ」を製作しませんか

糸ノコの使い方などをアドバイスするので初心者の方も参加してください。

製作見本は、「あかおにどん」と「いきいき広場」に展示してあります。

日 12月2日(木)

午前10時～午後3時

場 ものづくり工房あかおにどん

定 大人4人

費 500円(工房利用料含む、当日お支払いください)

※作業に適した服装(埃が気になる方はマスクなど)でお越しください。昼食は各自ご持参ください。

申 開館日(火・木・土・日曜日)の午前10時～午後4時の間に、直接電話で申し込んでください。

※定員になりしだい締め切ります。

※キャンセルの場合は、必ず連絡し

てください。

ものづくり工房あかおにどんでは、一緒にものづくりをしてくださる方を募集しています。

人と接するのが好きな方、木工や裁縫などに関心のある方、経験は問いませんのでお気軽にあかおにどんへご連絡ください。直接遊びに来てくださるのも大歓迎です。

申 間 ものづくり工房「あかおにどん」 ☎52-0909



## バコハで勉強しよう! 自主学習室の開放

中・高校生の居場所づくり「バコハ」で、テスト週間の時期に合わせ、自主学習室をオープンします。

※事前予約の必要はありません。

場 勤労青少年ホーム2階講習室

間 ・ たかはまスポーツクラブ

☎050-5204-9977

・ 囲文化スポーツグループ

☎52-1111(内線330)

開放日	時間
11月19日(金)	17:00～20:00
11月20日(土)	9:00～20:00
11月21日(日)	9:00～20:00
11月23日(火)	9:00～20:00
11月26日(金)	17:00～20:00
11月27日(土)	13:00～20:00
11月28日(日)	13:00～20:00
12月3日(金)	17:00～20:00
12月4日(土)	13:00～20:00
12月5日(日)	13:00～20:00

# 地域で見守る 子育て! 子育て! 22

## ～虐待って!!～



子どもを泣かせてばかりいると虐待をしているのではないかと近隣から疑われてしまう!?



子育てをしている日本の住宅事情は、近隣が迫っており子どもの泣き声はよく響くため、子どもの泣き声が目立つ傾向にあるようですね。児童虐待防止法の施行で、子どもを泣かせてばかりいると虐待をしているのではないかと近隣から疑われてしまわれてしまうという不安も募ります。

しかし実際に泣かない子どもはいません。母親の胎内から出て、泣かなければ呼吸をしておらず、そのまま放置しておけば死に至ってしまいます。子どもにとって、「泣く」ことは命に関わることなのです。

それにもかかわらず、児童虐待のケースでも、「子どもが泣きやまなかった」「言うことをきかなかった」「なつかなかった」などの理由が言われることが多いそうです。

発達途中の子どもは、言葉のコミュニケーションでは通じないことが多いのです。子どもは泣いて命を守り、そして

成長をしています。子どもにとって泣くことは、学び、労働、運動であるのです。子どもは、生き延びる手段として不快を感じたら「泣く」という行動で大人の関心をひくというコミュニケーションを生得的に身につけていきます。

大人の言葉も届かない状態で、耳障りになっている大人の社会は、子どもが泣くことの真意を忘れてしまっています。「泣く=悪」ととらえていれば、親にとって子どもの泣き声は想像以上のストレスとなるでしょう。だから、「泣いていてもいい」というメッセージと周囲の理解が必要なのではないでしょうか。泣いて知らせることができることを素直に喜ぶそんな泣き声を受け入れる大人の土壌が大切です。



問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871